

事務事業マネジメントシート (兼) 予算編成資料・実施計画資料

Main project information table including: 事務事業名 (生涯学習推進事業), 基本政策 (個性と文化を育む都市づくり), 政策 (生涯学習ネットワークの整備充実), 施策 (生涯学習システムの推進), 事業期間, 所属部局 (教育委員会), 所属課室 (生涯学習課), 所属担当 (生涯学習担当), 予算科目 (01 一般 10 04 03 020 01), 事業区分 (国の制度による義務的事業, 県の制度による義務的事業, 市の制度による義務的事業, 義務化されている協議会等の負担金), 法令根拠 (生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律), 事業費の主な内訳 (講師謝金 350, 消耗品 32, その他保険料 2, その他委託料 970, リース料 189, 計 1,553).

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

Activity and target table with 4 rows: ① 活動 (24年度活動実績, 25年度活動予定), ② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 (市民 委員), ③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか) (アンケートにより要望のある講座・講演会等を社会教育委員に語り、ニーズにあった事業を開催する。ニーズが高い教室・講座を積極的に開催し、市民の学習機会の充実を図り、自主的な学習活動を支援する。), ④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか) (芸術文化及び生活文化のさらなる向上が図られ、地域再見・文化のまちづくり・地域文化の振興が図られる。)

Indicator table with 4 rows: ⑤ 活動指標 (講座の開催回数, 会議回数), ⑥ 対象指標 (人口, 事業数), ⑦ 成果指標 (参加者数), ⑧ 上位成果指標 (講座に参加したことにより満足と感じる市民の割合 %).

(2) 事業費・指標の推移

Large table showing financial trends and indicators from 2012 to 2028. Columns include: 23年度 (決算・実績), 24年度 (決算見込・実績), 25年度 (予算・目標), 26年度 (次年度計画・目標), 27年度 (計画・目標), 28年度 (計画・目標), 最終年度 (トータルコスト・目標). Rows include: 年間トータルコスト (国庫支出金, 県支出金, 地芳債, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B), (A)+(B)), 活動指標 (回数), 対象指標 (人数), 成果指標 (人数), 上位成果指標 (%).

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

Table with 3 rows: ① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか? (集団活動から個人の活動へと移行していく中で、個人を対象に生涯にわたって学習機会の参加ができるよう平成24年に法が制定された。), ② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は? (余暇を有意義に過ごすため、市民の生涯学習に対するニーズは高まっている。), ③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか? (市民から趣味的講座の開催要望が高い)

(4) 改革改善の取り組み状況

Table with 3 rows: ① 改革改善の取り組み実施は? (☑ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☐ 取り組みしていない ⇒【理由↓】), ② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由) (趣味的講座で継続して活動をしていきたい市民に対して、きっかけ作りをした後、市民自ら活動できるクラブ・サークル等に参加することを促す。市が中心として実施していくのは、趣味的講座から教養的な講座開催への比重を移していくこと), ③ H 24年度に実施した改革改善の内容 (指定管理者等を含め他所管主催の講座を把握し、同様な講座開催がされる場合は事業実施を見送る)

| | | | | | |
|-------|----------|-----|-------|-----|-------|
| 事務事業名 | 生涯学習推進事業 | 所属部 | 教育委員会 | 所属課 | 生涯学習課 |
|-------|----------|-----|-------|-----|-------|

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

| | | |
|-----------------|--|---|
| 目的 妥当性 評価 | ① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？ | <input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市民が余暇を利用し、生涯をとおして学ぶことができる機会を設けている。 |
| | ② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 各種講座を開催することで多くの市民に趣味や教養など自分にあつた講座の選択ができ、これをきっかけに生涯にわたって継続して学習することができる。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働 |
| | ③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 対象を広く市民としている。 |
| 有効性 評価 | ④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？ | <input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 周知方法の検討 |
| | ⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) 図書館企画事業、みどり自然課南アルプス学講座、男女協同企画企画事業等の講座と連携を図り講座の共同開催を検討する。 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 公民館管理運営事業との整合性、連携等を図る。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない |
| | ⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 生涯学習を学ぶきっかけが減少する。市民からの要望が多いため、現状では難しい。 特に高齢者には余暇を利用して学ぶ機会が減る。 |
| 効率性 評価 | ⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) | <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 桃源文化振興協会やその他指定管理者への事業の移管 |
| | ⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？) | <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 講師によって報償費が決まっているため |
| 公平性 評価 | ⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 広報誌により広く市民に周知し、事業開催をしている。定員がオーバーした場合、公平な抽選により受講者を決定する。 |

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

| | |
|--|--|
| (1) 1次評価者としての評価結果 | (2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について) |
| ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | 公民館活動との重複する部分がある。ただし公民館事業の方が後発のため端緒についたところであり、この時点で事業統合を推し進めると公民館事業が成り立たなくなってしまう。周知方法については広報・HP等を活用しているがCATV等新たな方法を検討する。 H25年度は指定管理者と連携し自主事業と生涯学習講座を行う等、新たな運用状況も実施していく予定である。その結果、自主事業での講座活用が活発になればH26年度からの予算削減も可能となる。 |

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

| (1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可 | (3) 改革・改善による方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---|--|----|----|----|------|----|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|----|--------------------------|--------------------------|-------------------------------------|----|--------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) | <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要 | | | コスト水準 | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果水準 | 向上 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 維持 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 低下 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | | | | コスト水準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果水準 | 向上 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低下 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 改革改善案について | (5) 事務事業優先度評価結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 周知方法の改革(受身ではなく能動的に・・・CATV等の活用) ② 指定管理事業者との連携 ③ | <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> </table> | 成果優先度評価結果 | ② | コスト削減優先度評価結果 | ⑪ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果優先度評価結果 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト削減優先度評価結果 | ⑪ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 初心者レベルでのリピーターは他受講者の妨げになる ② ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |